

令和4年度の主な公益事業の紹介

公1 緑化啓発促進事業

公2 緑の募金事業

公3 県民の森管理運営事業



緑の募金 PR キャラクター
どんぐり君



緑の募金 PR キャラクター
どんぐりちゃん

公益社団法人岩手県緑化推進委員会

【公 1 緑化啓発促進事業】

- 1 第 53 回岩手県緑の少年団大会
(岩手県、八幡平市、緑の少年団連盟、治山林道協会)
- 2 ふるさとの巨樹・名木観察会(本部)
- 3 環境緑化普及啓発公募事業(助成)
 - ・ 遠野市緑化祭「里山フェスタ 2022」(遠野市緑化祭実行委員会)
- 4 市町村支部等環境緑化普及啓発事業
 - ・ 一関地方育樹祭(平泉支部)
 - ・ 県民の森ボランティア活動(本部)
 - ・ 第 73 回全国植樹祭プレイベント連携事業(本部)

【公 2 緑の募金事業】

- 1 森林整備公募事業(助成)
 - ・ 地域緑化活動推進事業(有丸大県北農林)
 - ・ 矢巾町水辺の里再生プロジェクト(矢巾里山会)
 - ・ ウルシモリモリプロジェクト(特定非営利活動法人紫波みらい研究所ほか)
- 2 市町村支部等森林整備事業
 - ・ 久慈地方森林づくり大会(岩手県緑化推進委員会久慈地区協議会)
- 3 緑化運動コンクール(本部)
 - ・ ポスター原画岩手県コンクール
 - ・ 標語コンクール
- 4 緑化功労者の表彰(釜石地方森林組合)
- 5 森の学校・森の先生事業
 - ・ 児童センター親子遠足(盛岡市土淵児童センター虹の会)
 - ・ 自然観察会(岩手町川口学童保育クラブ)
 - ・ 学年遠足(岩手町立沼宮内小学校)
- 6 市町村支部等緑化推進事業
 - ・ 植樹祭環境整備事業(本部)
 - ・ 少年団装備品等整備事業(本部)
 - ・ 少年団種子採種事業(本部)
 - ・ ポスター展示会(本部)
 - ・ 「どんぐり苗木を育てよう活動」事業(本部)
 - ・ ユリノキ積木等贈呈事業(本部)
- 7 緑の募金活動の推進(本部)

【公 3 県民の森管理運営事業】

行事写真等

【公1 緑化啓発促進事業】

1 第53回岩手県緑の少年団大会（R4.7.29（金） 八幡平市「岩手県県民の森」）



開会式



少年団結成周年表彰



植樹会



木工工作（木製プランターカバー製作）

第53回岩手県緑の少年団大会は、7月29日午前10時から八幡平市の「岩手県県民の森」で開催された。県緑の少年団連盟（二杜県治山林道協会、公益社県緑化推進委員会、県が主催）と八幡平市が共催して開催された県内緑の少年団9団、秋田県、福島県から2団の11少年団、143人の団員と育成会、大会関係者など約300人が参加した。記念の森の林間で開催式が行われ、主催者の中野和久県少年団連盟会長（千田育郎副会長代理）は「来年の春には天皇陛下、皇后陛下が訪れる」と激励した。また、八幡平市の松尾白（たけしろ）は「岩手県緑の少年団は、県民の森の緑化に貢献している。これからも、県民の森の緑化に貢献していきたい」と話した。また、八幡平市の松尾白は「岩手県緑の少年団は、県民の森の緑化に貢献している。これからも、県民の森の緑化に貢献していきたい」と話した。

全国植樹祭のプランターカバーを製作
岩手県緑の少年団大会
ミズナラの苗木など植樹

この丸太の輪切りは、いわて林業アカデミーの研修生がチェーンソーの練習で切った輪切りを再利用した。午後からは、森林体験学習と木工工作が行われ、木工工作では、来年、開催される全国植樹祭の会場周辺に花を飾るための木製プランターカバーを製作した。

と緑のちがいを宣言した。式典に続いて来賓も交えて植樹会が行われ、県内の少年団が「どんぐり・花を育てよう事業」で育てたミズナラ等の苗木約200本を植栽した。植栽した苗木の周りには、雑草から苗木を守るために丸太の輪切りを3枚並べ、それぞれ自分の名前やメッセージなどを書き込んだ。

岩手林業新報（R4.8.5 付記事）

2 ふるさとの巨樹・名木観察会（本部） ・二戸地区 R4.10.29（土）



長興寺のイチョウ（九戸村）



古屋敷の千本桂（軽米町）

二戸地区で巨樹・名木の観察会
緑化推進 6カ所の巨樹・名木訪ねる
委員会

（公社）岩手県緑化推進 委員会
委員会は「ふるさとの巨樹・名木観察会」は、10月29日に行われ、二戸地区の6カ所の巨樹・名木を訪ねた。

今回の観察会では、一般公募の参加者、関係者約20人が、二戸地区の6カ所の巨樹・名木を訪ねた。

観察した巨樹・名木は、軽米町の「古屋敷の千本桂」と「山田の千本松」、「沢里オッコ」、「九戸村の「足洗田の千本松」、長興寺の公孫樹、「一戸町の「藤島のフジ」、観音堂の「いすれも見事な巨樹・名木で、藤島のフジは国指定天然記念物、そのほかの巨樹・名木も村や町の指定天然記念物となっている。

観察会では、講師の橋本良二岩大名教授が綿密な下見調査を行い、それぞれ巨樹・名木の樹木としての特徴や生育環境、歴史、さ

らには名木が育った神社、地域の歴史など、幅広い話題で参加者を引き付けた。

軽米町の「古屋敷の千本桂」は推定樹齢600年、全国最大級のカツラの巨木で、根元から多数のひこばえが発生していることから、千本桂と呼ばれている。

「山田の千本松」は推定樹齢280年のウツクシマツで、幹は途中から多数分岐していることから千本松と呼ばれている。普通のアカマツは、真っ直ぐ上に伸びるリーダーの1本松を軸に階段状に枝を上げた樹形をつくる。一方、千本松はリーダーとなる幹が多数出現し、扇を開いたような樹形をつくる。植物分類学上、変種として扱われ、ウツクシマツの名称が与えられている。

「沢里オッコ」は推定樹齢430年、正式和名はイチイ（一位）で、古来より神宮の使う樹（しやく）として用いられることから、仁徳天皇がこの木に正一位を授けたとされる。沢里のオッコは角地の民家の庭にあり、隣に古いイチイの根株が縦状に残っていることから、古い昔、生け垣として植えられたと推測される。

九戸村の「足洗田の千本松」は推定樹齢300年以上で、山田の千本松と同様のウツクシマツである。

「長興寺の公孫樹」は推定樹齢800年。岩手県内の十傑に入る大きさで、大樹冠とともに、根元から放射状にくねくねと浮き出ている太根に目を奪われる。

一戸町小島谷の「藤島のフジ」が国指定天然記念物に指定された昭和13年当時、根元周り3・3mで、カツラの太木に巻き付き、20m以上に達していた。その後、老木となり、腐朽が進みかつての根株の形跡はないが、新しく分かれた枝や、実生群などが育ち、多くの花を咲かせるようになっている。特に、藤島のフジの種子から発芽・生育したと思われる「観音堂の藤」は樹齢100～150年、里にあるフジとしては珍しい大木となっている。

岩手林業新報（R4.11.15 付記事）

3 環境緑化普及啓発公募事業（助成）

- ・遠野市緑化祭「里山フェスタ 2022」（遠野市緑化祭実行委員会 R4.6.11（土））



4 市町村支部等環境緑化普及啓発事業

- ・一関地方育樹祭（平泉支部 R4.10.1（土））



岩手日日

・県民の森ボランティア活動（本部 R4.8.27（土））



第73回全国植樹祭開催の機運を醸成 緑推委の県民の森 ボランティア活動 第51回森林組合デーも実施

第51回岩手県森林組合デーは「豊かな森林の再生と県産材の安定供給を、森林組合が主軸となって進めよう」をテーマに、8月最終木曜日の25日に行われた。森林組合デーは、県森連創立30周年記念式典で職員連盟が制定を特別提案し、満場一致で可決されて、岩手県の森林組合系統の独自取り組みとして、昭和47年から行われている。今年の森林組合デーでは、森林の重要性、森林組合の果たす役割をアピールするため、刈払などの奉仕活動や研修・講習会などを実施し、PR・情報発信した。県森林組合連合会は27日に八幡平市の「岩手県民の森」で行われた「公社」県緑化推進委員会の「県民

の森」ボランティアによる森林づくりに参加したほか、25日には事務所でのSDGs研修などを行った。県緑化推進委員会のボランティア活動には、県関係市町、林業関係15団体に加え公募した県民など約100人が参加し、下刈り作業とアジサイ植樹を行った。ほか、来年春の第73回全国植樹祭の開催機運の醸成を目的に、植樹祭会場を花で彩るための木製プラントーカパー製作も行った。作業に先立ち、県緑推委理事長の中嶋和久県森連会長が「多くの皆様にご参加

頂き感謝申し上げます。近年、気候変動で大きな自然災害が多発しており、改めて森林の恵、森の豊かさ、多面的機能を認識し、これらの問題に取り組まなければならない。岩手県の豊かな森林を次世代の子供たちにしっかりとつなぐ取組が今を生きる私たちに課せられた責務である。来年6月5日に本県で2回目の全国植樹祭が、陸前高田市で開催されるが、この県民の森は、第1回の全国植樹祭が開催された場所であり、以来、多くの県民の皆様が愛され、森の豊かさを体験する取組が続けてきた森である。本日は、例年の下刈り作業に加え、全国植樹祭に向け機運を醸成するため、植樹祭で使うプラントーの製作などをお願いする。先般、ここで植樹祭1年前イベントが開催され、岩手の森、豊かな森をみんなで作って行こうという機運が盛り上がったところであり、本日は、皆さんと共に県民の森を整備したい」とあいさつした。

また、種代克彦県農林水産部長が「来年6月の全国植樹祭開催まで残り280日となっており、開催機運を盛り上げるため、先月1年前イベントを開催したほか、現在、シンボルの木製地球儀リレーや苗木のスクールステイ等を行っている。これからも開催に向けて様々な取組を行って参りたいと考えており、ご協力賜わりたい」とあいさつした。朝から雨模様だったが、開会式前には雨も小降りとなり、参加者は濡れて重くなった下草に苦労しながら汗だくで作業していた。

・第73回全国植樹祭プレイベント連携事業（本部 R4.7.9（土））



全国植樹祭

機運高める

2023年に陸前高田市で開催する第73回全国植樹祭の1年前記念イベント（県、県実行委主催）は9日、八幡平市松尾寄木の県民の森で開かれた。大会テーマソングの初披露や県内を巡回する木製地球儀の出発式を行い、豊かな森林の継承や東日本大震災からの復興の姿を国内外に発信する行事の成功に向け、機運を高めた。

八幡平市で1年前記念イベント

県民の森（約10ヘクタール）に、約300人が参加し、地元の苗木小園芸店の苗木を贈り、会場に「全国植樹祭」の機運を高めた。会場には、大会テーマソングの初披露が行われ、木製地球儀の出発式が行われた。

テーマソングお披露目

木製地球儀 県内巡回へ出発

大会テーマソングを初披露する佐藤千恵さん

木製地球儀の出発式。佐藤千恵さんが地球儀に手を添え、出発式が行われた。

大会テーマソングの初披露。佐藤千恵さんが地球儀に手を添え、出発式が行われた。

岩手日報（R4.7.10 付記事）

【公2 緑の募金事業】

1 森林整備公募事業（助成）

・地域緑化活動推進事業（有丸大県北農林 R4.9.21（水））



・矢巾町水辺の里再生プロジェクト（矢巾里山会 R4.5～10 月）



・ウルシモリモリプロジェクト（特定非営利活動法人紫波みらい研究所ほか R4.11.5（土））



2 市町村支部等森林整備事業

・久慈地方森林づくり大会（岩手県緑化推進委員会久慈地区協議会 R4.10.11（火））



平庭高原のシラカバ守れ

久慈地方森づくり大会

久慈

第6回久慈地方森づくり大会（久慈市など主催）が11日、開かれた。山形にある小学校の児童と、海側にある小学校の児童らがシラカバの苗木100本を植樹。山の恵みが川や海にもたらされることを学び、豊かな自然を未来に継承することを誓った。

（高田和恵）

児童ら苗木100本植樹

平庭高原には約1万本のシラカバが自生しているが、近年は可燃物が多く、市がシラカバを自主的に伐採し、苗木を生産。林の再生事業に取り組みでい

市立栗内小の児童らも、久慈小の児童35人に関係団体の職員を含め約100人が参加した。遠征隊一市は「皆さん力を借り、日本一のシラカバ林を守っていきたい」とあいさつ。栗内小は「平庭高原で育った苗木が、久慈市にサテライト会場が設けられることもアピールした。

児童らは三陸北部森林整備署久慈支所の指導を受けながら、地面に穴を掘ってシラカバを植樹。大会の開会を記念する標柱の建立も行われた。海岸の清掃活動に長年取り組んでいる久慈小の水士大雅君（6年）は「山を守ることで海も守れる。この体験を通して、地元の自然を守りたい」と話した。栗内小の5年下仁君（5年）は「シラカバが大きな木になり、水を蓄えて森や川、川をきれいにしてほしい」と願いを込めた。

平庭高原にシラカバの苗木を植える児童

デーリー東北新聞社（R4.10.13 付記事）

3 緑化運動コンクール（本部）

・令和5年用国土緑化・育樹運動ポスター原画 岩手県コンクール

《 最 優 秀 賞 》 3 作品

【小学校の部】

【中学校の部】

【高等学校の部】



盛岡市立城北小学校 6 年
田中 佑奈



盛岡市立河南中学校 3 年
細野 二胡



岩手県立花巻北高等学校 2 年
藤田 若葉

《 優 秀 賞 》 11 作品

【小学校の部】



盛岡市立城北小学校 3 年
岡田 梓



遠野市立綾織小学校 1 年
及川 璃音



北上市立江釣子小学校 4 年
笹井 美桜里



北上市立江釣子小学校 5 年
及川 結菜

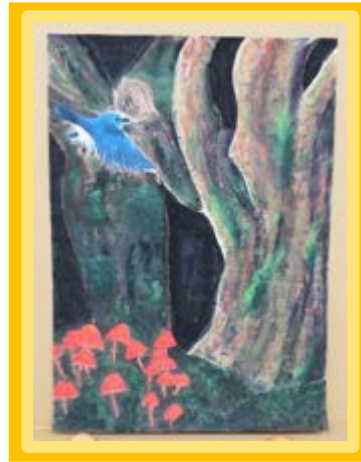


北上市立江釣子小学校 6 年
伊藤 和奏

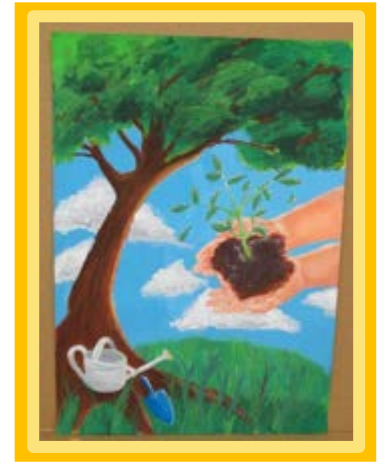
【中学校の部】



盛岡市立大宮中学校 3 年
箱崎 望ノ愛

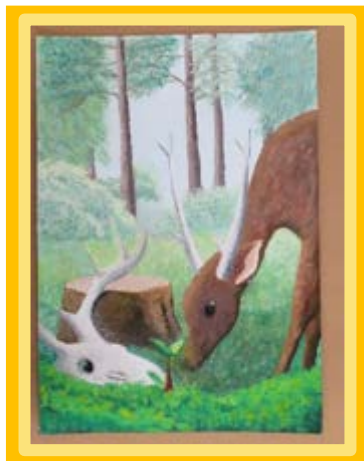


花巻市立花巻中学校 1 年
工藤 夢梨

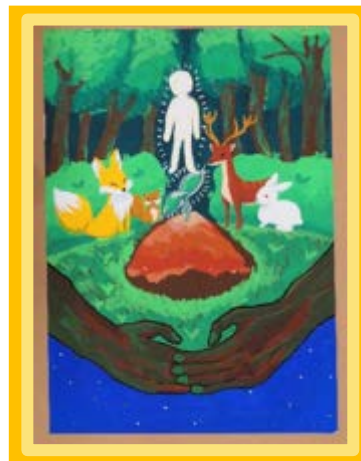


久慈市立久慈中学校 2 年
女供 芽依

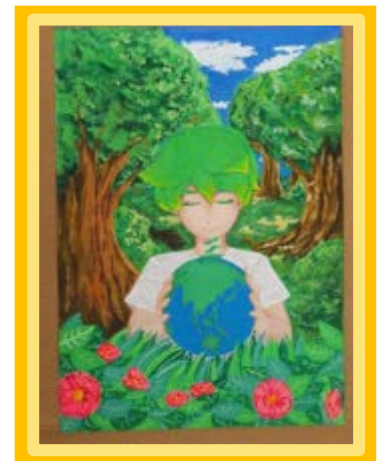
【高等学校の部】



岩手県立杜陵高等学校 1 年
田村 真凜



岩手県立一戸高等学校 1 年
柴田 琉華



岩手県立一戸高等学校 1 年
大道 千果

《佳作》小学校の部 10 作品、中学校の部 10 作品、高等学校の部 2 作品 計 22 作品

岩手県コンクール入選作品 14 作品を国土緑化推進機構主催の全国コンクールに推薦したところ、3 作品が入選しました。

入選	小学校の部	岡田 梓 (盛岡市立城北小学校 3 年)
		及川 璃音 (遠野市立綾織小学校 1 年)
	高等学校の部	藤田 若葉 (岩手県立花巻北高等学校 2 年)

・標語コンクール 岩手県推薦作品 (10 作品)

(五十音順)

守りたい 地球の未来と 豊かな緑
 広げよう めばえる命 植樹の輪
 さあ植えよう 輝くグリーン 輝く未来
 小さな芽 大きなみらい 育てます
 育てよう 豊かな心と 豊かな緑
 未来へと 守り育てる 緑の芽
 木を植える 後世につなぐ 夢と希望
 育もう 緑の大地 夢いっぱい
 豊かな緑は 明るい未来の道しるべ
 木を植えよう 緑の恵みが未来を照らす

岩手県立沼宮内高等学校 3 年	今松 愛梨
岩手県立沼宮内高等学校 1 年	小澤 一期
岩手県立沼宮内高等学校 3 年	桐ケ久保 乃杏
八幡平市立平館小学校 3 年	工藤 歩由
岩手県立沼宮内高等学校 3 年	斉藤 翔太
岩手県立沼宮内高等学校 1 年	竹花 陸来
岩手県立沼宮内高等学校 3 年	橘 すみれ
岩手県立沼宮内高等学校 3 年	立花 桜咲
一般	藤田 久美子
岩手県立花巻北高等学校 2 年	藤田 若葉

4 緑化功労者の表彰（東北・北海道地区緑化推進協議会会長賞 釜石地方森林組合）



5 森の学校・森の先生事業

・ 児童センター親子遠足（盛岡市土淵児童センター虹の会 R4.6.19（日） 岩手県県民の森）



・ 自然観察会（岩手町川口学童保育クラブ R4.8.4（木） 岩手県県民の森）



・ 学年遠足（岩手町立沼宮内小学校 R4.9.28（水） 岩手県県民の森）



6 市町村支部等緑化推進事業

・植樹祭環境整備事業（本部 木製プランターカバー製作）



緑の少年団による木製プランターカバーの製作（R4.7.29 岩手県緑の少年団大会）



県民ボランティア活動での木製プランターカバーの製作（R4.8.27）

・少年団装備品等整備事業（本部 ネッカチーフ・チーフリング等製作）



・少年団種子採種事業（本部 R4.8.31（水）米崎緑の少年団 陸前高田市立小友小学校校内）



希望の種 つなぐ

来年6月に全国植樹祭の会場となる陸前高田市で31日、米崎小（大森昌校長、児童131人）の5年生22人がハマナスの実を採取した。種子は植樹祭で届き、子どもたちは、同市の小友小学校庭のり園にあるハマナスから選りすぐった種を採取し、約500個を集めた。ハマナスは東日本大震災後に県内外のボランティアが「被災地を明るくしたい」との思いを込めて植えた。菊池里歩さんは「とけがたくんさんあつて大変だったね」。

活動は県緑化推進委員会が主催。種子は来年6月4日に高田松原津波復興祈念公園で開催する植樹祭の本番まで低温で保管される。

陸前高田・全国植樹祭へ児童がハマナスの実採取

赤く色ついたハマナスの実をはさみで採取する児童。31日、陸前高田市・小友小

岩手日報（R4.9.1 付記事）

・ポスター展示会（本部 R4.1.29～31 エスポワールいわて）



・「どんぐり苗木を育てよう活動」事業（本部 県内の5つの緑の少年団）



丹藤川自然愛護少年団（岩手町）



米崎緑の少年団（陸前高田市）



湯田小学校自然愛護少年団（西和賀町）



興田小学校自然愛護少年団（一関市）



釜津田自然愛護少年団（岩泉町）

・ユリノキ積木等贈呈事業（本部 沿岸南部の9園に贈呈）



大船渡支部（R4.11.9 綾里こども園）



陸前高田支部（R4.12.1 竹駒保育園）



大槌支部（R4.11.28 つつみこども園）



釜石支部（R4.11.28 かまいしこども園）

台風で倒木・ユリノキ→積み木に加工 岩手県緑化推進委、かまいしこども園に贈る

2022/12/05

金石新聞News #地域 #子育て



たくさんの積み木を前に、笑顔を見せる子どもたち

釜石市天神町のかまいしこども園（藤原けい園長、園児78人）に11月28日、台風被害を受けた盛岡市内の倒木・ユリノキを加工して作られた積み木90個が贈られた。ユリノキの苗木1本も届き、子どもたちが園庭に植樹。「一緒に大きくなろうね」と苗木の根元にそっと土をかぶせた。

積み木の材料となったユリノキは盛岡・高松公園地内にあったが、2019年10月の台風19号による強風で倒木。県緑化推進委員会が盛岡市から譲り受け、東日本大震災被災地の幼稚園、保育園、こども園を対象に子どもたちの「木育」の推進を図ろうと、積み木を製作、寄贈している。今回、同委員会から釜石市に寄贈先の調整依頼があり、各施設に意向を確認。同園が希望したことから、苗木と合わせて贈ることを決めた。

この日は同委員会釜石支部事務局を担う市水産農林課の小山田俊一課長らが同園を訪問。小山田課長は、▽モクレン科の落葉樹▽大きな枝を広げて高さ15メートルにもなり、街路樹や公園樹として植栽されている▽8年くらいで、おわんに似たチューリップのような花が咲くーといったユリノキの特徴を紹介した。

年長児8人が植樹作業をお手伝い。小山田課長は「みんなと一緒に成長することを期待。積み木を通して木に親しみ、森や緑の大切さを知ってほしい」と、園児と藤原園長に積み木を手渡した。

園内に戻り、木箱に入った大小さまざまな積み木が広げられると、年長児は「わー、しんびん」などと歓声。思い思いの形に並べたり、高く積み上げたりして積み木遊びを楽しんだ。中村日陽（ひより）ちゃん（5）は「すてきなかがりがした。つるつるしてた。人とかいっぱい作って遊ぶ」とはにかんだ。

7 緑の募金活動の推進（本部）



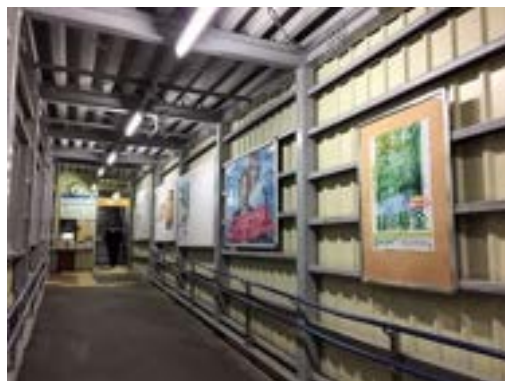
バス前面垂幕（3/20～5/31 岩手県交通）



バス車内でのポスター掲示（3/20～5/31岩手県交通）



主な駅へのポスター掲示（4/15～5/14 三陸鉄道・久慈）



主な駅へのポスター掲示（4/1～5/12 IGR・青山）



緑の募金設置協力（R4 年春季・秋季募金）



盛岡駅構内におけるポスター原画コンクール
入賞作品の展示（5/2～5/16）



岩手日報広告（R4.4.15）

【公3 県民の森管理運営事業】



2月 七滝氷瀑ツアー



5月 八幡平さくらまつり



5月 新緑の森と七滝散歩



9月 きのこと教室



10月 紅葉の大地獄谷



10月 八幡平紅葉まつり



10月 秋の野鳥観察会



12月 門松教室

・令和5年度の行事もたくさん予定しております。
詳しくは、岩手県県民の森ホームページ (<http://www.kenminnomori.com/>) をご覧ください。

「緑の募金」へのご協力をお願い

皆さまからご協力いただいた「緑の募金」は、身近な地域はもちろん、国内外のさまざまな森づくり・人づくり活動へと活かされます。「緑の募金」は皆様の思いを確実に「緑の輪」として広げます。個人、又は自治会や学校、あるいは職場で共同で募金する等、「緑の募金」にご協力をお願いいたします。

【募金の活用例】

- ・ 緑の募金及び緑化運動の推進
- ・ 緑化思想の普及啓発
- ・ 県民参加の森林づくり活動支援及び環境緑化の推進
- ・ 学校林整備・学校環境緑化活動の推進
- ・ 緑の少年団等の育成及び活動支援
- ・ 東日本大震災復興事業に対する支援など



●第53回岩手県緑の少年団大会



●県民の森ボランティア活動



●ふるさとの巨樹・名木観察会

【募金の方法】

店頭や職場等の募金箱、振込用紙、直接持参、緑の募金協賛商品の購入等を通じて募金することができます。

【募金期間】



春季緑の募金運動推進期間 3月20日～5月31日

秋季緑の募金運動推進期間 9月1日～10月31日

「緑の募金」キャラクター
どんぐり君



公益社団法人 岩手県緑化推進委員会

〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目15番17号

TEL : 019-625-0310

